国立感染症研究所治療薬開発研究部第四室　主任研究員　募集

【募集部署】　国立健康危機管理研究機構
国立感染症研究所治療薬開発研究部第四室

【勤 務 地】　国立健康危機管理研究機構
戸山本部キャンパス（東） 東京都新宿区戸山1－23－1
国立感染症研究所
＜変更の範囲＞国立健康危機管理研究機構の事業場

【募集職種】　主任研究員 （任期付常勤職員）

【採用人数】　１名

【職務内容】　治療薬開発研究部は、次に掲げる事務をつかさどる。
治療薬開発研究部は、感染症その他の特定疾病に関し、ワクチンを除く予防薬及び治療薬の開発並びに関連する横断的研究（これらに関するレファレンス業務を含む。）並びに講習を行うことをつかさどる。
第四室においては、治療薬開発研究部の所掌事務のうち、予防薬及び治療薬（ワクチンを除く。）の基盤に関する研究（他室の所掌に属するものを除く。）を行うことをつかさどる。
うち採用予定職では次の業務を行う。
1. バクテリオファージを利用した抗菌治療法の開発
2. バクテリオファージによる殺菌メカニズムの解析
3. バクテリオファージに対する宿主細菌ディフェンスシステムの解析
4. これらの活動を担う若手人材の育成
＜変更の範囲＞国立健康危機管理研究機構における研究等業務

【選考基準】　1. バクテリオファージによる殺菌メカニズムおよび宿主細菌側ディフェンスシステムに関する研究業績を有すること
2. バクテリオファージを利用した治療法実用化研究に意欲を示すこと
3. 若手人材育成の経験および他部員と連携して業務遂行する協調性を有すること
4. 大学院博士課程修了後、4年以上の学位（博士）取得者
※上記1から4を満たすこと
※なお、次のいずれかに該当する者は、応募できませんのでご了承ください。
①拘禁刑（禁錮）以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたは執行を受けることがなくなるまでの者
②当機構にて懲戒解雇の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
③日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者

【採用予定日】　令和９年４月１日以降、原則１日付

【雇用期間】　５年 （試用期間：採用日から６ヶ月間）
※契約の更新：無

【給　　与】　＜月例年俸額＞445，800 円/月 ※各種税控除前の金額

＜業績年俸＞年額1，795，000円を基準として業績や勤務成績等により変動。
勤務開始日により 除算有
＜他主要手当＞地域手当（上記基本年俸の 20%）、通勤手当
＜定期昇給＞なし

【勤務形態】 9時00分から17時45分（休憩時間12時～13時）
休日：土日祝、年末年始 12/29～1/3
休暇：年次有給休暇、リフレッシュ休暇、特別休暇（忌引等）
※業務の都合により、超過勤務が生じる場合あり
※勤務開始時間の変更・フレックスタイム制の適用は相談可

【そ の 他】 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入
※処遇詳細は、「職員就業規則」及び「職員給与規程」による。

【選考方法】 書類選考及び面接
※面接試験にかかる交通費等の支給なし

【応募書類】 ・履歴書（写真添付、別添様式例による、PC から連絡可能なメールアドレスを記載）
※学歴は高等学校卒業以降から記載
・学位記（写し）または学位を証明するもの
・主要研究概要（1,200字以内）
・応募職の業務内容に関する抱負（1,000字以内）
・業績目録（A4版縦 横書き、別紙参照）
・論文別刷（1編以上）
・書類送付先またはメールアドレスに11月17日（火）12時必着で送付してください。
・下記募集部署を封書の場合は朱書き、メールの場合は件名にしてください。
『国立感染症研究所治療薬開発研究部第四室 主任研究員 応募』
・応募書類は採用審査の用途に限り使用し、返却いたしませんのでご了承ください。
・応募書類の提出に応じて締め切り前であっても随時、選考を行います。
・面接はオンラインにて実施することがあります。

【書類送付先】 〒162-8640
東京都新宿区戸山1－23－1
国立健康危機管理研究機構
国立感染症研究所総務部人事課 担当：宇田川、西山
メール：koubo-niid@nih.go.jp
TEL：03-5285-1111 （内線）2073、2024

履　歴　書

年　　月　　日現在

写真をはる位置

写真をはる必要がある場合
1. 縦
　横
2.本人単身胸から上
3.裏面のりづけ

ふりがな 氏　　名	
年　　月　　日生　　（満　　歳）	※性別
ふりがな 現住所　〒	電話
ふりがな 連絡先　〒　　（現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入）	電話

年	月	学　歴・職　歴（各別にまとめて書く）

※「性別」欄：記載は任意です。未記載とすることも可能です。

年	月	学　歴・職　歴（各別にまとめて書く）
年	月	免　許・資　格

志望の動機、特技、好きな学科、アピールポイントなど

本人希望記入欄（特に給料・職種・勤務時間・勤務地・その他についての希望などがあれば記入）

（別紙）

業績目録

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１． 著書

２．学術論文（学会誌発表等）

（１）欧文

（２）邦文

３．学会発表（講演・発表等）

４．外部資金（研究費）獲得状況（研究代表者のみ、直近５年）

（記入上の注意事項（共通））

１．上記項目ごとに、著者名等、著書名等、発行所名（発表雑誌名）の順で記載し、それぞれを改行すること。

２．年代の新しいものから順に記載すること。

３．発行所名、発表雑誌名の次に巻号、ページ数及び発行等の西暦を記入すること。

（例：Journal of Virology, 78:1298-1315, 2002）

４．欧文の発表等は、原文のまま記載し、下段に（ ）書で和訳を記載すること。

５．各題名の書き出しに、発表形態の種別を記載すること。（単独は（単）、筆頭は（筆）、その他は（他））

６．著者名等は、本人以外も省略せず全て記載し、さらに本人の名前にアンダーラインを引くこと。

７．長期の無発表期間がある場合は、その理由書を添付すること。

８．査読有りの論文については最低限、記載すること。
（参考例）

１．著書

①機構太郎、感染太郎
（他炎症の組織病態
○○社, PP.67-87, 1989）

２．学術論文
（１）欧文
①Taro Kansen、Jiro Kansen、Saburou Kansen、Tarou Kikou、Jiro Kikou、Saburou Kikou
（筆）An Outbreak of ○○○○○○○ Infection in USA , 2002
（○○○○○○○感染症のアウトブレイクー２００２年アメリカ）
Epidemiology and Infection, 15:286-289, 2002

（２）邦文
①感染太郎、感染二郎、感染三郎、機構太郎、機構二郎、機構三郎
（筆）An Outbreak of ○○○○○○○ Infection in Oosaka, JAPAN, 2004
（○○○○○○○感染症のアウトブレイクー２００４大阪）
Epidemiology and Infection, 16:311-335 2004

３．学会発表
①感染太郎
（単）ラット皮下腫瘍の消長と○○○の相互関係について
第２５回日本病理学会総会, 東京, 1989

４．外部資金（研究費）獲得状況（研究代表者のみ、直近５年）

①厚生労働省、○○（課題名）
期間：令和○○年～令和△△年、金額○○○円／年

②科学研究費補助金、（課題名）□□□□□
期間：令和○○年～令和△△年、金額○○○円／年